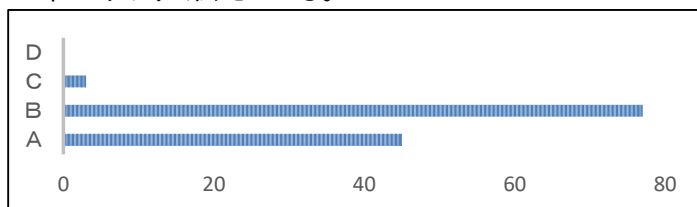


令和元年度 学校評価（前期）の結果について

前期の「保護者アンケート」を実施した結果をまとめましたのでご報告いたします。ご協力ありがとうございました。（回収率＝76.2%）
 これらは、後期の教育活動改善の参考とさせていただきます。
 また、お寄せいただいたご意見（自由記述欄）の中から、全体に関わる内容のものについてお知らせいたします。
 ※平均点はA=5点、B=4点、C=2点、D=1点で計算し、中央値が3となるようにしています。

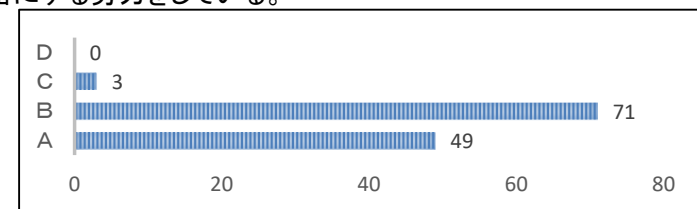
1 学校は、教育目標や指導方針についてわかりやすく伝えている。

A	B	C	D	平均
45	77	3	0	4.3
				H30
				4.3



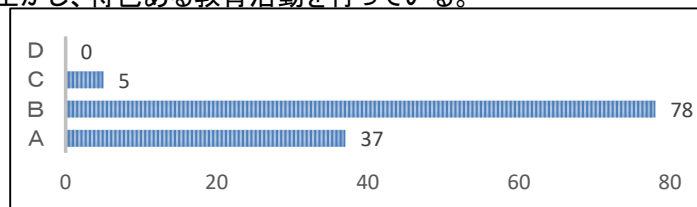
2 学校は、保護者や地域との連携を密にする努力をしている。

A	B	C	D	平均
49	71	3	0	4.3
				H30
				4.2



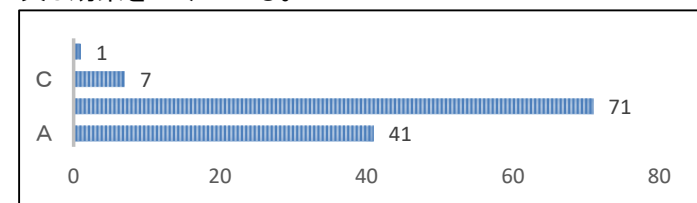
3 学校は、地域の環境・施設・人材を生かし、特色ある教育活動を行っている。

A	B	C	D	平均
37	78	5	0	4.2
				H30
				4.2



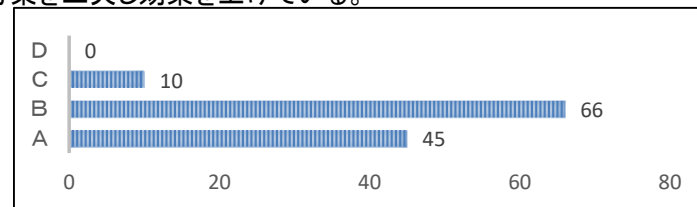
4 学校は、児童の学力向上の方策を工夫し効果を上げている。

A	B	C	D	平均
41	71	7	1	4.2
				H30
				4.2



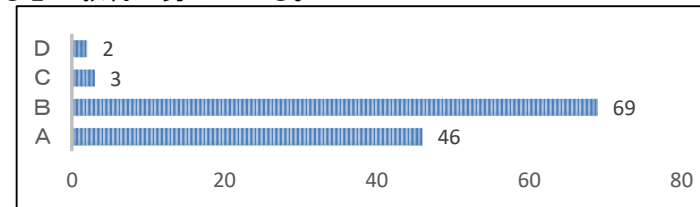
5 学校は、児童の健康・体力向上の方策を工夫し効果を上げている。

A	B	C	D	平均
45	66	10	0	4.2
				H30
				4.3



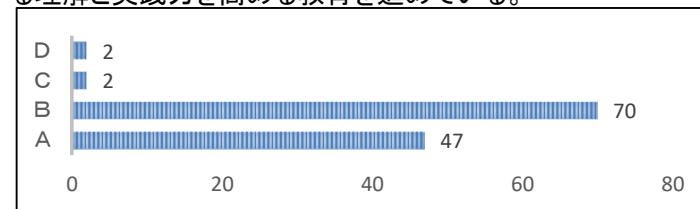
6 学校は、思いやりや社会性を高める心の教育に努めている。

A	B	C	D	平均
46	69	3	2	4.3
				H30
				4.0



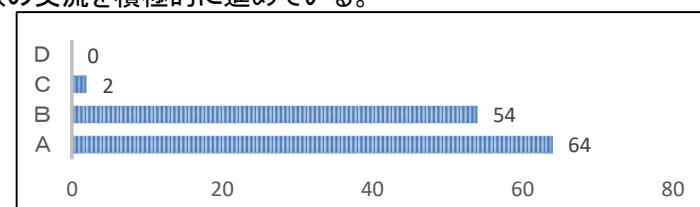
7 学校は、児童の健康や安全に対する理解と実践力を高める教育を進めている。

A	B	C	D	平均
47	70	2	2	4.3
				H30
				4.3



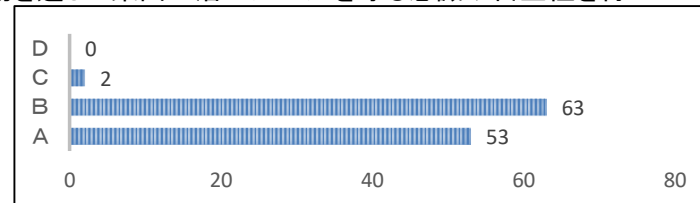
8 学校は、通常学級と特別支援学級の交流を積極的に進めている。

A	B	C	D	平均
64	54	2	0	4.5
				H30
				4.5



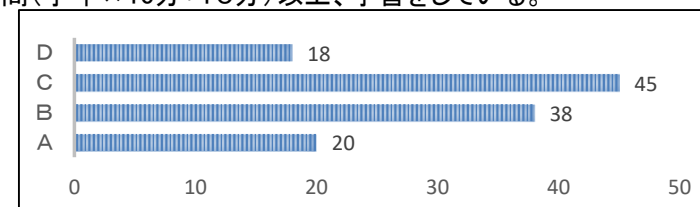
9 学校は、児童会活動や学級会活動を通して集団生活のルールを守る意識や自主性を育てている。

A	B	C	D	平均
53	63	2	0	4.4
				H30
				4.3



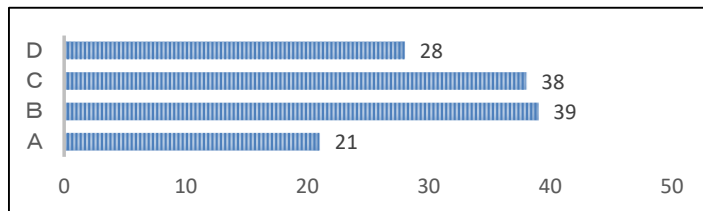
10 お子さんは、家で学年の目標の時間(学年×10分+10分)以上、学習をしている。

A	B	C	D	平均
20	38	45	18	3.0
				H30
				3.0



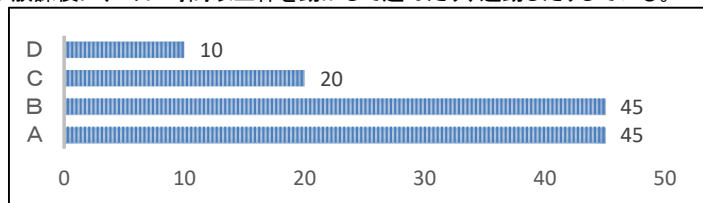
11 お子さんは、家でテレビやゲームの時間を決めてやっている。

A	B	C	D	平均
21	39	38	28	2.9
H30				3.1



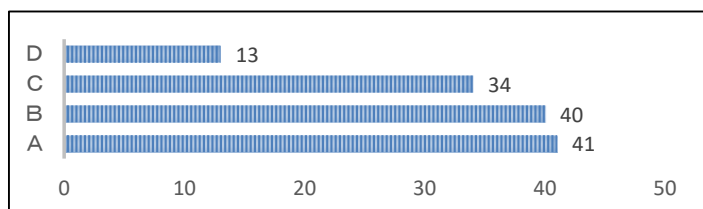
12 お子さんは、学校の体育以外で、休み時間や放課後に、1日1時間以上体を動かして遊んだり、運動したりしている。

A	B	C	D	平均
45	45	20	10	3.8
H30				3.8



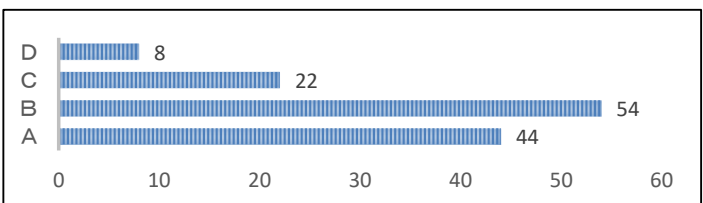
13 お子さんは、早寝ができています。

A	B	C	D	平均
41	40	34	13	3.5
H30				3.7



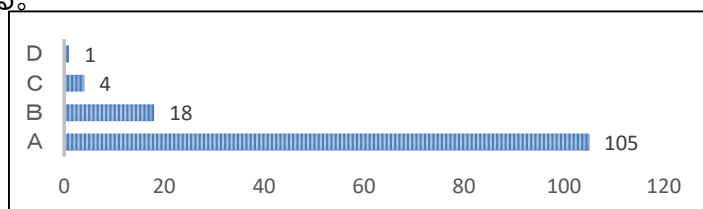
14 お子さんは、早起きができています。

A	B	C	D	平均
44	54	22	8	3.8
H29				3.9



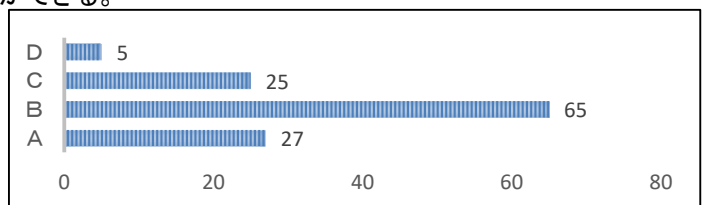
15 お子さんは、朝ご飯を食べてきている。

A	B	C	D	平均
105	18	4	1	4.7
H29				4.7



16 西小の子どもたちは、自分から挨拶ができる。

A	B	C	D	平均
27	65	25	5	3.7
H30				3.8



【考察】

昨年度から継続した課題ですが、「家でテレビやゲームの時間を決めている。」「家で 学年×10分+10分 勉強している。」が低い結果となりました。どちらも、家庭での生活習慣の確立(家庭での約束事や時間管理 等)が必要です。小学生のうちにはじめに保護者が積極的に関わり、徐々に本人の自立を促していかなければ決してできるようになるものではありません。各家庭での取組をお願いいたします。

また、保護者アンケートの提出率が29年度は60%、30年度は67%でしたが、今年度は76.2%と多くの方に提出していただいたことに学校教育への関心が高まったものととらえ、後期はさらに良い結果となるよう、教育活動を進めていきます。

【自由記述欄より】

○学級便りのおかげでクラスの様子がよくわかり、安心しています。

●視力検査や歯科検診・健康カードの配布が今年は遅かった。毎年この結果を見てすぐに病院受診の判断をしているが、遅かったので先に病院へ連れて行ったり、眼鏡を作り変えました。目の結果については黒板の字が見えないなど、学業に直結するのですぐに知らせてほしいです。他の保護者も同じことを言っていました。

●転校してから4か月半程しか経っていないので、学校の評価については私自身がわからない事や理解できていないところがあると思います。そのような状況で評価しています。申し訳ありません。評価項目の内容がわかりづらく、「わからない」の評価が多くなってしまいました。どのように()内の項目を進めているのか、育てているのか、行っているのかがわかると答えやすかったです。

⇒**今後も学校や学級の情報については、速やかにわかりやすく伝えていけるよう努力します。**

●授業時間ですが、年々減っていることに不安を感じています。(特別支援)

3年生ですべて5時間に増えたのですが、給食時間も授業時数に入ってしまう、4時間の日もあり、今年度は4時間の日が短縮で12:45までに変わってしまいました。学校でたくさん学んでほしい事があります。以前のように授業数を増やしていただければと思います。

⇒**B日課の日については短縮で実施しているわけではなく、授業時間・授業時数は同じようにとっております。特別支援学級の学習については、給食指導など日常生活指導や自立活動に関する活動については、児童や学級全体の状況、適正な時間割や学習内容など、様々な点を考慮して決めたいと思います。**

○英語の授業をやっている時に廊下に聞こえた雰囲気は良くて、安心しました。音楽に合わせて自然な感じで触れていて良いですね。

●学級ある学年の先生に連絡を密にとっていただき、指導内容に大きな差が出ないようにしてほしい。中休み・昼休み全てを学習の補填・補足として使うのはやめてほしい。

⇒**今後も子どもたちが学習に進んで向き合えるよう、学年の枠を超えて連携しながら授業改善を進めていきます**

○授業・宿題ちゃんと出来ていれば満足です。

●宿題の量が前の学校に比べるとかなり少なく、内容も簡単すぎるように思う。○つけは親がやっていたが、3倍の宿題があった。

⇒**家庭学習については本校でも「苫小牧学びの3か条」をもとに学年×10+10分で考え、宿題+家庭学習に取り組みせています。不足分については家庭学習など、ご家庭の協力をいただければと思います。**

○西小の子たちはほかの学校の子たちより、人の苦手な部分や気にしていることを指摘したり、責めたりしない優しい心を持っていると思います。教育してくれているおかげだと感じています。

○改善するところはないので、そのままいいと思います。 ○いつも温かく見守っていただき、感謝です!!

○いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。 ○このまま取り組んで下さい。

○学年関係なく、みんな仲良くしている所が西小の良い所だと思う。

○先生方が一人一人をよく見て接して下さっているのが、安心して通わせられます。色々とお手数をおかけしていますが、今後とも宜しく願い致します。

○教育相談・家庭訪問ともに先生たちが親身になって聞いてくれてとても安心しました。これからもよろしくお願い致します。

⇒**良い評価をいただいている部分は、今後とも継続して取り組んでいきます。**

- 挨拶ができるのはとても素晴らしいと思います。
- 西小の子の印象は元気に挨拶ができていてる所が良いと思います。
- 学校へ行くといろんな学年の子から挨拶されて嬉しくなりました。
- 他の学校の子どもたちは放課後や朝の登校時、すれ違う大人すべてに挨拶をすることが徹底されていたりしますが、西小の子どもたちは参観日の時ですら挨拶がなく、勉強以上に大切なものがなされていないことに残念でした。
- ⇒朝の挨拶運動をはじめ、日常的な指導を継続して、自分から挨拶できるよう指導していきます。
- 公園の外側に自転車がはみ出したり、家がすぐだからとぎりぎりまで公園にいたりする子がいるので、指導すべきかと…。
- 自転車の乗り方が危ない子どもたちがたくさんいます。横断歩道も乗ったまま渡り、青点減でも乗って渡っています。本当に危ないので(見たら注意していますが)、今一度伝えてください。
- 校外へ出ると(帰宅後)ルールを守れなくなる子が多く、公園や地域でトラブルが多い。特に他人の敷地に鬼ごっこ等が入ったり通り抜けをしていて、塀を2~3回壊され、そのままいなくなり、困ります。学校で指導していただけらと思います。
- ⇒学校でも公共のマナーやルールを守る指導を継続していきます。地域の皆様もぜひ、子どもたちの危険な行為など見かけましたら、温かくも厳しいご指導をお願いします。
- ▲1年に1回クラス写真を撮ってほしいです。スナップ写真でも良いので…。入学式以降、卒業までクラス写真がないのはとても寂しいです。子どもたちが大きくなった時の良い思い出になるとと思います。ぜひご検討ください。
- ▲5・6年の遠足はあって良いのでは？子どもががっかりしていたので…。
- ▲遠足の水遊びは荷物が多くなるので、水遊びは禁止でいいと思います。
- ▲今年度の運動会はリレー競技が多く、走るのが得意な子は楽しかったのですが、見ている方は「またりレー？」と感じました。
- ▲低学年は運動会で親子競技が運動会であっていいと思いました。
- ▲すみれ・たんぽぽ学級のお友だちっているの？と聞くと、給食交流の事は聞けましたが、その他での交流はないようで「友だちって言えるのかなあ？」と言っていました。せっかくの自校での支援学級ともしっかり交流できたらいいなあと感じました。
- ▲低学年も学習サポートをぜひお願いします！もつとなわとびの時間を増やしてほしいです。検定とか…漢検を学校で受けられたら嬉しいです。
- ⇒行事に関しては、わらいや児童の実態、活動時間も考慮しながら検討を続けていきます。
- できることがあれば西小で進めている教育活動に協力していきたい考えです。
- ▲今年度から「委員」を完全廃止で1家庭1活動の活動になり、負担が少なくなり、ありがたかったです。花壇活動を行いました、他の保護者の方々と良い雰囲気の中で行うことができました。
- ▲校区内に親も知らない危険な所があります。チラシ係をしてわかりました。なので、来年度のチラシ係さんにチラシを配りながらチェックしてもらうのはどうでしょう？ちなみに子どもは何をするかわからないし、変な人に連れ込まれてもおかしくない場所があります。みんな、危険な場所を情報交換した方が良いでしょう。
- ⇒PTAに関わる反省は事務局に伝えました。行事に関わる反省は次年度の参考にします。
- アンケートについてですが、無記名で良いのでは、と思いました。
- ⇒必要に応じて、個別に回答させていただく場合もございますので記名方式をとっております。ご理解ください。

中高生が「加害者」又は「被害者」となった事例です。注意しましょう。

1 無料通信アプリやSNSなどを使用したいじめ

たとえば…

行き違いから発展したネットいじめ

無料通信アプリでメッセージを読んだにもかかわらず返信しなかったことがきっかけで、怒った親友がネット上に自分に対するイヤミ、悪口を繰り返して投稿し、そのうちクラス中から無視されるようになり、不登校になりました。



たとえば…

無料通信アプリにおける仲間外れや誹謗・中傷

無料通信アプリのグループから外されたり、再三にわたり、同級生らからネット上に陰湿な悪口を書かれたりしました。また、書き込まれた悪口が拡散し、学校に行けなくなりました。最終的には、同級生を名指して、「ネットに悪口を書かれ生きるのがツライ」と遺書を残して自殺しました。



ネットいじめの特徴は、情報があつという間に広がる、発覚しにくいなどがあります。ネット上に書き込まれた誹謗中傷はすぐに広まり、いじめが拡大しやすいことから、人の心を深く傷つけ、時には命にかかわるほどの深刻な事態になることがあります。もし、インターネットなどでいじめを受けたら、一人で悩まず、学校や保護者などの信頼できる大人か、法務局…などに相談しましょう。

ゲーム・スマホの利用に気をつけましょう

学校評価の結果考察にもありますが、苫小牧西小学校の子どもたちはテレビを観たり、ゲームをする時間が長い傾向にあります。また、最近ではスマホ(スマートフォン)の所持も低年齢化しつつあります。スマホはもちろん、最近のゲームには通信機能がついており、小学生でも気軽にインターネットにアクセスしたりSNSに触れたりすることができるようになってきました。しかし、インターネットやSNSでのやりとりは便利ですが、さまざまな危険が潜んでいます。上の資料は中高生向けの啓発資料ですが、小学生でも問題になりつつあります。ゲームをやる時間だけではなく、ゲームについている機能の確認や、どのような遊び方をしているのか、ご家庭でもしっかり把握していただけるよう、ご協力をお願いします。特に「ネットいじめ」は、次のようなケースが該当しますので、より一層注意が必要です。

- ・個人名を挙げて批判や悪口を言う。
- ・顔写真や個人情報などを提示した上で、悪評を書き込む。
- ・その情報や根拠のないうわさを流す。

また、大人であっても子どもであっても、内容によっては名誉棄損罪・侮辱罪などの罪に問われることもあります。そして、子どもは、大人の使っている様子を、私たちが思っている以上によく見えています。先日、茨城県でのあおり運転で加害者とは異なる女性の氏名がSNS上に晒され、拡散するという事例がありました。大人が使い方の手本を示せるようにしたいものです。